



関わりの結果、このような活動に
参加できるようになりました！

サロンで体操の先生として活躍



買い物



元々参加していた自治会活動へ
(神社のしめ縄づくりの指導)



作業所への就労

秋祭り開催

当院の「秋祭り」規模を縮小して開催しました。
素敵な一日となりました！



◆ 診療実績・施設基準実績 令和5年6月～令和5年11月(6カ月間)

患者数		新規入院患者数 疾患別人数・平均在院日数		
新規入院患者数	262人	疾患名	疾患別人数	平均在院日数
退院患者数	281人	脳血管疾患	177人	101.5日
外来患者数(延べ)	2,262人	運動器疾患	70人	60.56日
		廃用症候群	13人	58.67日
		適応外疾患	2人	61.13日

新規入院患者内訳			
	男	女	合計
人数	127人	135人	262人
65歳～74歳の割合	30.7%	17.8%	24.0%
75歳以上の割合	45.7%	60.0%	53.1%

在宅
復帰率

96.5%

重症患者
割合

47.5%

リハビリ
テーション
実績指数

48.16

ぎんやんにき通信

「銀屋んにき」／長崎弁で銀屋周辺の意



「夢の散歩」 安達輝子

一般社団法人是真会 理念

地域リハビリテーションを推進し、
地域に貢献する

「障害のある子供や成人・高齢者
とその家族の人としての尊厳を守り、
住み慣れたところで安心して、そ
の人らしく、生き生きと生活してい
けるように質の高いリハビリテー
ションサービスを提供する」という
「地域リハビリテーションの理念」の
実現を法人の理念として掲げる。

編集後記

通所リハビリテーション銀屋通りは、
いきいきと元気に活動される利用者さん
の素敵な笑顔であふれていました。利用
者さんのほんのちょっとした事でも「やっ
てみたい」と思う気持ちと、それを実現する
ためにスタッフ全員でサポートする姿は、理
念実現に向かってのどと感じました。
表紙を描かれた、安達輝子さんをはじめ誌
面制作にご協力いただいたすべてのみな
さまへ、改めてお礼申し上げます。

一般社団法人 是真会
長崎リハビリテーション病院
在宅支援リハビリテーションセンターぎんや

〒850-0854 長崎市銀屋町4番11号
TEL.095-818-2002
FAX.095-821-1187

発行／一般社団法人 是真会
2023年12月 vol.21
企画・編集／一般社団法人 是真会



一般社団法人 是真会
長崎リハビリテーション病院
在宅支援リハビリテーションセンターぎんや

vol.21
2023.12

通所リハビリテーションとは？

介護保険制度の介護認定を受けた方が、病院や診療所等に併設された施設、介護老人施設、介護医療院に通い、医師の指示のもとに専門のスタッフによるリハビリテーションを受けるサービスです。

通所リハビリテーション

障害などを抱えて在宅で生活されている方々が「してみたい」「やってみたい」と思う活動へのチャレンジを支援している『通所リハビリテーション銀屋通り』についてご紹介します。

利用者開始の流れ

利用開始までの流れはQRコード（ホームページ）を確認、もしくはケアマネジャーにご相談ください。



居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー)



在宅支援

リハビリテーションセンター ぎんや

居宅療養管理指導事業所 (管理栄養士)

通所リハビリテーション事業所

訪問リハビリテーション事業所

通所リハビリテーション銀屋通り

通所リハビリテーション銀屋通りは、在宅支援リハビリテーションセンターぎんやの一部です！

午前の部 9:00~11:30 午後の部 13:00~16:00 で運営

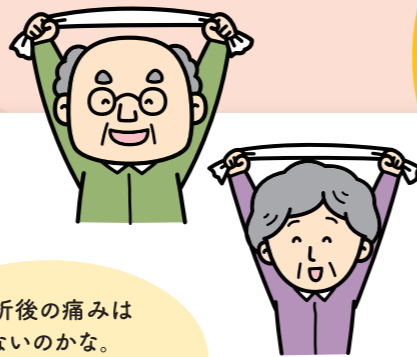
利用定数は午前・午後 各40名。一日平均65.4人の方が利用 ※R4実績

送迎 片道25分圏内を7台の送迎車で実施 ※車椅子対応可能

スタッフ数 医師1名 看護師1名 介護福祉士3名
理学療法士4名 作業療法士2名 言語聴覚士1名
運転手6名 歯科衛生士と管理栄養士は病院兼務

「してみたい」「やってみたい」の達成に向けた支援の流れ

1 各専門職の関わり



骨折の経過は順調です。しっかり筋力をつけましょう。

骨折後の痛みはないかな。お薬は処方通りにのめているかな。

以前はどこに買い物に行っていたかな。今はお家でどんな風に過ごしているのだろう。

筋力をつけるには食事が大切だけど、今の食事状況はどうか。

管理栄養士

医師

看護師

介護福祉士

買い物に行きたい

足を骨折していた利用者Aさん

理学療法士

どれくらいの距離を今は歩けるのかな。杖とか必要な。

歯科衛生士

言語聴覚士

作業療法士

どんなものを買い物していたのかな。バスも使うのかな。

歯の噛み合わせはどうか。悪いと転びやすくなるかも。

店員さんと上手く会話ができるのかな。相手の声は聞こえているかな。

様々な専門職が“見て(診て)”、“聴いて”、“触れて”、必要な情報を集めます。



2 目標達成に向けた計画を立てる

どんな練習や関わりが必要か様々な専門職の評価結果をもとに、利用者さん、ご家族、利用している他のサービス(ヘルパーやデイサービスなど)等他スタッフと一緒に話し合い、計画を立てます。またそこで各事業所での役割分担を行います。

医師/骨折の経過は順調です。このペースで運動を続けていきましょう。

訪問リハ/自宅内は安全に移動できていますので、今後はまず自宅周辺を歩く練習を始めていきましょう。

通所リハ/足の筋力は徐々に強くなっていますが、長く歩くだけの体力が課題ですね。

利用者・家族/家の中を歩くことに不安はなくなりました。早く二人で外出することを楽しみにしているので、自宅でもできる体操を教えてください。



利用者さんの目標達成の支援を①~③を繰り返し支援します!



3 利用中の関わり



車椅子の方もお迎えに行きます。

体操の一例はこちらのQRコードから

Aさんの過ごし方



リハの専門職が利用者に合わせて体力テストや練習をします。



乗り物練習



体力テスト

- 8:45 自宅へお迎え
- 9:10 事業所に到着 (体調確認(血圧、体温測定など))
- 9:30 マシン運動
- 10:20 集団体操
- 10:40 自主練習
- 10:50 リハ専門職の関わり
- 11:00 利用者さん同士の交流
- 11:20 ラジオ体操
- 11:30 送迎車に乗り込む



利用者さんの課題に合わせた集団体操を行います。



この関わりの結果は裏面へ



買い物練習

